

学認クラウドと Amazon Web Services

2016年5月26日

アマゾン ウェブ サービス ジャパン 株式会社

吉荒 祐一

yoshiara@amazon.co.jp

クラウド利用の三つの前提条件

- 総務省「教育ICTの新しいスタイル クラウド導入ガイドブック2016」
- クラウド導入ガイドブック
 - **クラウドの利用方法**
- ICT環境構築のための調達ガイドブック
 - **クラウドの調達方法**
- 情報セキュリティに関する手続きガイドブック
 - **クラウドのセキュリティ**



AWS責任共有モデル

お客様自身で
クラウドを
コントロール可能



お客様のアプリケーション・コンテンツ

ネットワーク
サーバー
セキュリティ

インベントリ
・構成管理

アクセス
コントロール

データ
セキュリティ

AWSが
クラウドの
セキュリティを
担当



AWS 基本サービス

コンピューート

ストレージ

データベース

ネットワーク

AWS
グローバル
インフラストラクチャ

アベイラビリティ
ゾーン

リージョン

エッジ
ロケーション

AWS責任共有モデル

お客様自身で
クラウドを
コントロール可能



お客様のアプリケーション・コンテンツ

ネットワーク
サーバー
セキュリティ

インベントリ
・構成管理

アクセス
コントロール

データ
セキュリティ

お客様はこの部分の
統制に関して**AWS**
にオフロードするこ
とが可能。

AWS 基本サービス

コンピューート

ストレージ

データベース

ネットワーク

AWS
グローバル
インフラストラクチャ

アベイラビリティ
ゾーン

リージョン

エッジ
ロケーション

AWS責任共有モデル

Security
"OF"
the Cloud

AWS 基本サービス

コンピューート

ストレージ

データベース

ネットワーク

AWS
グローバル
インフラストラクチャ

アベイラビリティ
ゾーン

リージョン

エッジ
ロケーション

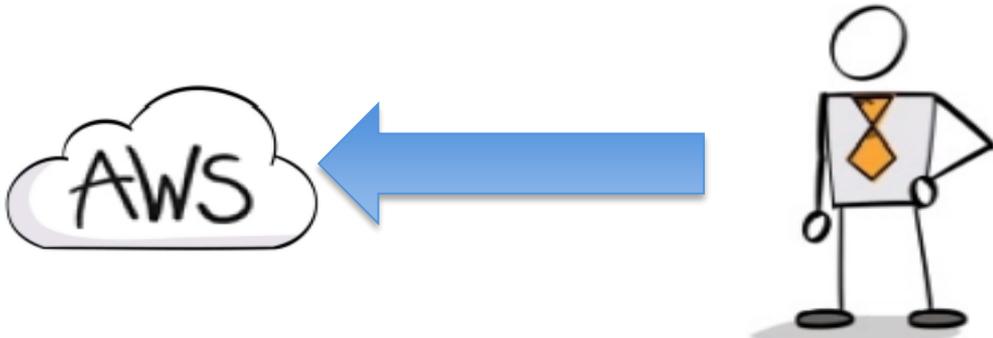
Security “OF” the Cloud



Security “OF” the Cloud



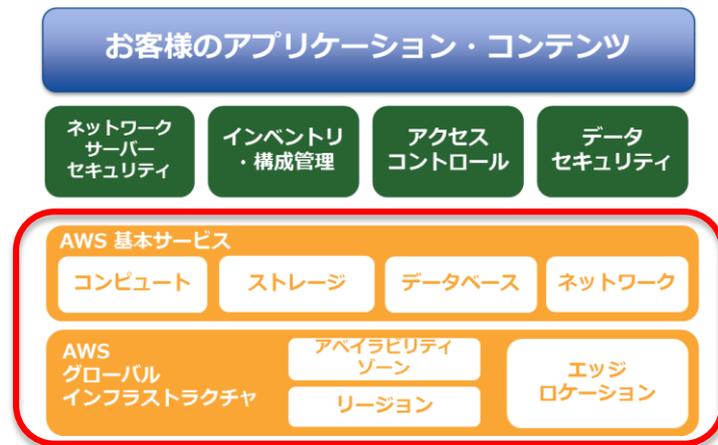
AWSは、お客様が使用するAWS サービスに関連した統制、およびそれらの統制がどのように検証されているかをお客様にご理解頂くことを支援致します。



- ❏ 業界における認定と独立したサードパーティによる証明を取得します
- ❏ AWS のセキュリティと統制に関する情報をホワイトペーパーおよびウェブサイトコンテンツで公表します
- ❏ NDA に従いAWS のお客様に証明書、レポートなどの文書を直接提供します

Security “OF” the Cloud

- AWS グローバルインフラストラクチャー
- アベイラビリティ・ゾーンによる可用性
- DCレベルの障害対策
- データセンターの物理セキュリティ
- ネットワークセキュリティ
- 論理的なセキュリティ
- 従業員・アカウントの管理
- データセキュリティ
- ストレージの廃棄プロセス



AWSは主要な規制/標準/ベストプラクティスに準拠



AWSコンプライアンス <http://aws.amazon.com/jp/compliance/>

コンプライアンス情報の使いどころ

- AWS利用者のセキュリティ評価、チェックシートの回答等に利用
- AWSの内部に関する統制状況は基本的にホワイトペーパーや、SOC1/2・PCI等のNDAベースで提供している情報から評価
- 公開されている情報で直接的に確認項目に回答されていないものも、提供されている情報によりリスクを評価いただくことで問題がないかどうか検討
- または、多層的なコントロールを考えることでその確認項目に関するリスクを許容できるものにてできるか検討
- それでも許容できないリスクが残る場合はAWSにご相談を

AWS 経産省が「ドメイン」医療情報を委託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン(平成24年10月15日経産省省告示第228号)						
経産省が「ドメイン」医療情報を委託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン(平成24年10月15日経産省省告示第228号)						
Requirements by AWS						
<p>This document is not legally-binding, and is not an offer to contract that can be accepted by either party. All responses in this document are informational and are provided solely for discussion purposes. Neither party will have any obligation or liability with respect to the matters described in this document. In compliance with our Terms of an applicable third-party agreement required by the parties addressing such matters, provided, however, that neither party will have any obligation or liability to enter into a different agreement for any reason. Amazon Web Services, Inc. ("AWS") has provided responses based on its current knowledge, but does not represent that change in any law and/or a change of fact, including a change of fact, requirements, the description of any third party you intend to assist with implementation, and change to AWS's service offerings. AWS does not have any representations or warranties of any kind in this document. Any of the AWS service offerings will be governed by the AWS Customer Agreement in effect at the time of your use of such offerings, not this document. AWS does not transfer any, items or services included in this document that conflict with or are in addition to the terms and conditions set forth in the AWS Customer Agreement.</p>						
議題	議題説明	備考	AWS 関係部署 セキュリティ/コンプライアンス/運用/開発	Risk and Compliance 関係部署	SOC1/2	その他
1	経産省が「ドメイン」医療情報を委託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン(平成24年10月15日経産省省告示第228号)	経産省が「ドメイン」医療情報を委託管理する情報処理事業者における安全管理ガイドライン(平成24年10月15日経産省省告示第228号)	33 ページ			65 ページ

リスクとコンプライアンス ホワイトペーパー

- AWSのお客様がIT環境をサポートする既存の統制フレームワークにAWSを統合する際に役立つ情報を提供
- AWSの統制の評価に関する基本的なアプローチについて説明し、統制環境の統合の際に役立つ情報

- 内容

- リスクとコンプライアンスの概要
- AWS統制の評価と統合
- AWSリスク及びコンプライアンスプログラム
- AWSの報告、認定、およびサードパーティによる証明
- **コンプライアンスに関するよくある質問と AWS**
- AWSへのお問い合わせ
- **付録 A: CSA Consensus Assessments Initiative Questionnaire v1.1**
- **付録 B: 米国映画協会 (MPAA) コンテンツセキュリティモデルに対する AWS の準拠状況**
- **付録 C: オーストラリア信号局 (ASD) のクラウドコンピューティングに関するセキュリティ上の考慮事項への AWS の準拠**
- 付録 C: 用語集

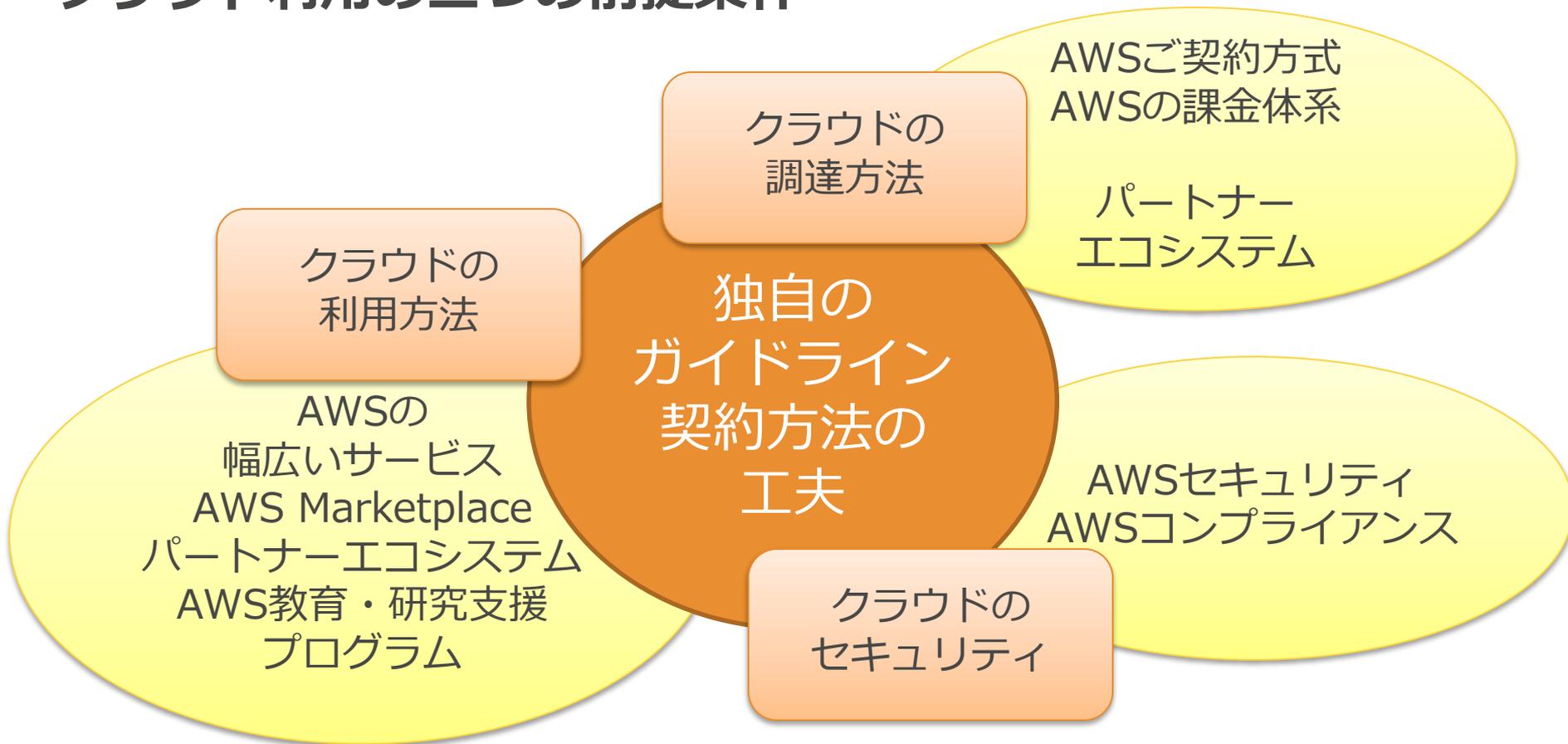
これらの章に書かれている内容がAWSでどのような統制があるか、どのような運用をしているかの主要な情報源になります。



学認クラウドチェックリスト

学認クラウド（仲介サービス）チェックリスト（初版） 2015.8.24更新								
項番	チェック項目	詳細チェック項目	記入要領	回答方法	SaaS	IaaS	Yes / No	記述回答
21		サービス停止の通知（計画停止）	計画停止を実施する場合の通知手順は文書で定められていますか。定められている場合、通知方法（ウェブページに掲載、契約時に書面で交付、電子メールなど）を明記してください。	Yes / No （記述あり）	○	○	Yes	<p>計画停止の手順に関して、AWS SOC 1 Type IIIレポートにおいて、AWS環境における変更管理についての管理体制に関する概要に関する情報を提供しています。またISO 27001基準の付録A、ドメイン12.5も参照してください。AWSは、ISO 27001認定基準への対応を確認する独立監査人から、検証および認定を受けています。</p> <p>AWSでは、定期的な保守やシステムのパッチ適用を実行するために、システムをオフラインにする必要がありません。定期的な保守においては、通常、WSの保守およびシステムのパッチ適用はお客様に影響がありません。お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての個別の保守のため停止が発生する際には、該当するお客様に事前にメール等で通知いたします。緊急の保守を除く多くの場合は、一定の期間を設け、その間であればお客様が停止タイミングを選択できます。お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての保守情報は、APIやAWSマネジメントコンソールでも取得できます。</p>
22		サービス停止の通知（計画外停止）	緊急メンテナンス等による計画外での停止を行う場合の通知手順は文書で定められていますか。定められている場合、通知方法（ウェブページに掲載、契約時に書面で交付、電子メールなど）を明記してください。	Yes / No （記述あり）	○	○	Yes	<p>計画外停止の手順に関して、AWS SOC 1 Type IIIレポートにおいて、AWS環境における変更管理についての管理体制に関する概要に関する情報を提供しています。またISO 27001基準の付録A、ドメイン12.5も参照してください。AWSは、ISO 27001認定基準への対応を確認する独立監査人から、検証および認定を受けています。</p> <p>AWSでは、定期的な保守やシステムのパッチ適用を実行するために、システムをオフラインにする必要がありません。定期的な保守においては、通常、WSの保守およびシステムのパッチ適用はお客様に影響がありません。お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての個別の保守のため停止が発生する際には、該当するお客様に事前にメール等で通知いたします。緊急の保守を除く多くの場合は、一定の期間を設け、その間であればお客様が停止タイミングを選択できます。お客様がご利用中のインスタンスやリソースについての保守情報は、APIやAWSマネジメントコンソールでも取得できます。</p>

クラウド利用の三つの前提条件



AWS Summit Tokyo 2016



AWS
SUMMIT
tokyo

クラウド活用の最適解、ここに集結。

2016年6月1日(水)～3日(金)

グランドプリンスホテル新高輪(国際館バミール、飛天) | 来場無料

[無料来場お申し込みはこちら »](#)

トップ Enterprise Day (6月1日:受付終了) General Conference (6月2日～3日) Developers Conference (6月2日～3日) ブートキャンプ 認定者向け特典 来場申し込み チケット情報 協賛スポンサー 展示ブース紹介 アクセス 来場案内

エグゼクティブからデベロッパーまで 10,000 人以上が集まる 3 日間

AWS Summit Tokyo 2016

6月3日 Public Sector Track

<p>【受付終了】 早稲田大学、学 生・教職員 7 万人 が毎日使うポータ ルサイトの基盤に AWS を採用</p>	<p>【九州先端科学技 術研究所様登壇】 Lab.Cloud (=Laboratory Cloud) ~教育研究 現場のいますぐ欲 しいに R2U (Ready to Use) クラウドサービス でお応えしま す! ~</p>	<p>【受付終了】 広島大学における クラウド利用拡大 状況</p>
<p>【受付終了】 【東京大学様登 壇】大学に於ける 最先端 IT の研究現 場とクラウド： 「by IT」だけでなく 「for IT」への展 開</p>		<p>【受付終了】 【中央大学様登 壇】クラウド環境 を用いた HPC の可 能性 - 高精細津波 遡上計算を例とし て -</p>

クラウド利用の三つの前提条件

